



14

澗美

特別
 ^5
 6673
 46
 早稲田大学図書印



安永四年己未歲

祝旦



家産のひと川の圃を慕あま
茶子よなよ地敷奈ふりて
山形り〜ふ〜凡俗〜致くハ
氣夕ぢぢら子奈海ふやまよ
他活子世のゆふ積まよ〜
あつぢ〜年の〜の夢よも
え川正門のゆく流ふふよ〜
函んと

陽春仙

大経や

本地の燈籠も

まのま

柳葉

か〜と教り沖の裏方柳
境〜と〜ハ〜川と福寿草
柳葉中〜も妙〜と〜と
柳〜よも昔〜れ〜と〜日
万果よ〜れも未〜年〜カ
柳〜よ〜けて似合中落の草
えり中〜川も宿〜ハ〜色
起〜れ〜と〜高ハ〜味〜
えりや茶紙の名もあ〜ま
川中や産も〜と〜と〜
李葉

おれやまの片ふあふ中のかき
おれやまの片ふあふ中のかき
おれやまの片ふあふ中のかき
おれやまの片ふあふ中のかき
おれやまの片ふあふ中のかき
おれやまの片ふあふ中のかき
おれやまの片ふあふ中のかき
おれやまの片ふあふ中のかき
おれやまの片ふあふ中のかき
おれやまの片ふあふ中のかき

千
紫雲

おれやまの片ふあふ中のかき
おれやまの片ふあふ中のかき
おれやまの片ふあふ中のかき
おれやまの片ふあふ中のかき
おれやまの片ふあふ中のかき
おれやまの片ふあふ中のかき
おれやまの片ふあふ中のかき
おれやまの片ふあふ中のかき
おれやまの片ふあふ中のかき
おれやまの片ふあふ中のかき

門廊 門外 廊 門 桐 宇
十ふ口ささる 係よ 新れ 月 柘水
紫の式新とささる 怪り 云 推
いふよと 清ん 山 崎 の 海 宇 死
おれやまの片ふあふ中のかき
おれやまの片ふあふ中のかき
おれやまの片ふあふ中のかき
おれやまの片ふあふ中のかき
おれやまの片ふあふ中のかき
おれやまの片ふあふ中のかき
おれやまの片ふあふ中のかき
おれやまの片ふあふ中のかき
おれやまの片ふあふ中のかき
おれやまの片ふあふ中のかき

地震くわあきくくく境石 徒延邑

ちよふりくもきりく情 面目

番たこの用もまふのく又ーこ

宿噴くふの列傑ささくれ

月新も陸陸尾の種よはよあー

しりくくはあて流ふおあ

うらくけう前ふよあそあこ

水の多ふよけああけく

北も南もむれ 国あれや

国あれやとん其のあこあふ

きくくを尾のちやあー
きくくくも凡雅の冥加よ
あのみハあひてあもああ
あくくくあふあふあ一あの
あああああああああああ
あああああああああああ

みあを人

同ーをあ

あきく

あきくの梅

